



入学式当日から、春の陽気が続き、自然園体験園からも校庭からも、休み時間になると子どもたちの楽しそうな声が聞こえてきます。児童玄関から、子どもたちが遊ぶグラウンドを眺めると、遠くには戸隠の山があり、子どもたちの遊ぶ姿を見つめているようです。その戸隠の山の頂にはまだ雪が残り、とてもいい景色です。

自然体験園の桜のつぼみも大きくふくらみ、8日(金)の休み時間にその桜の木に近づくと、まだまだ数輪の開花だったものが、この週末に一気に満開へと近づきました。今週が見頃の様子です。

今号では、前号でお伝えしたとおり、前期始業式の様子を中心にお伝えいたします。



「しりたい もっと〇〇してみたい」は 自分で歩むエネルギー

〔4月6日 前期始業式〕

みなさん見えますでしょうか。この石に巡り合ったのは、今から12年前でした。実は、この石のことを教えてくれたのは、先生ではありません。私が授業と一緒に勉強していた中学1年生のA君という男の子でした。

ある日の理科の授業で、石ころ集めが好きだった私は、今まで拾ってきた石を幾つか見せなくなっちゃったのです。みんな目を丸くして見てくれていて、私も正直うれしくなって、いい気になってしまいました。ところが、その授業が終わった後、先程お話をしたA君が私のところに近づいてきて、こう言ったのです。「先生、その石だったら、ぼくも持っているよ。これ近くでとれるよ。」「えっ、近くで?」

次の授業の時に、A君は、大事そうに自分の筆箱に入れてきたその石を見せてくれたのです。それはとてもきれいな透明な石でした。いいなあと思いました。さらに、よく見ると、水晶に似ているけど、ちょっと違う石じゃないか」と思ったのです。私の心の中に何の石であるのか知りたい、私も見つけたい!」という思いが湧き上がってきたのです。

A君が見せてくれた石が、この石と同じものです。どうでしょう。最初に見せた石がこの石です。A君が見せてくれたのはこの石です。

「知りたい、自分もそこに行って見つけたい」と思った私は、そのあとどうしたと

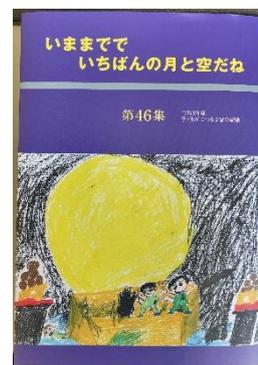


思いますか。皆さんだったらどうしますか。恐る恐るそのA君に、「ねえ、A君、あのさあ、もしできたらその石、どこで拾ったか教えてくれないかな。」

そしたら、A君は、自分の秘密にしているその場所を私に、こっそり教えてくれたのです。私は、拾ったら見せることを約束し、何度もお礼を言いました。

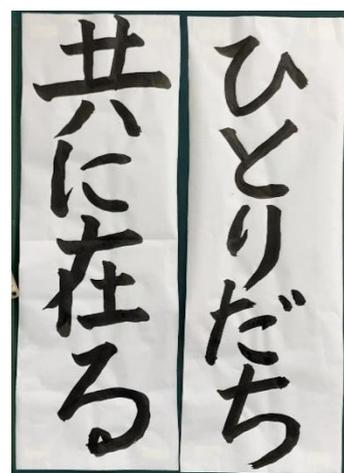
そして、私は、その教えてくれた場所に、実際に行ってみたのです。そうしたらね・・・
(つづく) ごめんなさい。お話が長くなるので、今日は、ここまでにします。続きは、次の機会(5月の校長講話)にします。

実は、私が、今日このお話をしたくなってきたきっかけは、この本です。『いままで いちばんの月と空だね 第46集』、皆さんの言葉です。一人一人の文章の中に、その人のよさがあふれていて、とても素敵な文集だと思いました。この中からお一人の文章を紹介させていただきます。昨年度4年2組、本年度5年2組のS・Hさんの文章です。「私が一番心に残ったことは、1回目の戸隠見学です。行くときに、「どんな石が待っているのかな」と思っていました。行ってみたら、そこには、水晶の塊が落ちていました。私は、「メノウを見つけたい」と思いました。なぜなら珍しいからです。最初は、メノウは、見つかりませんでした。だから、・・・」



ここには、Sさんの石探しの物語が綴られています。

この文章を読ませていただいたとき、Sさんと私は、違う場所で、違う体験をしたのですが、同じ思いを抱いているように思いました。それは、「しりたい、もっと〇〇してみたい」という思いです。次から次へと湧き上がってくるこの思いが、自分で歩むエネルギーになるのだと思います。この自分で歩いていくことが“ひとりだち”につながります。さて、新しい学年の学校生活が始まります。「しりたい、もっと〇〇してみたい」(間)この思いを大切にしながら、学校目標『共に在る』に向けて、先生方と共に楽しい授業を創っていきましょう。終わります。



わたしの 今年がんばりたいこと

前期始業式では、全校を代表して、2年生、4年生、6年生の4名が、「今年がんばりたいこと」を発表しました。どんながんばりたいことがあったのか、紹介します。

○去年は基地をつくりました。今年は、かわいい部屋やかっこいい部屋をつくりたいです。鬼ごっこも楽しみです。

(2年2組 K・Yさん)

○去年はじめてリコーダーをやって難しくて、加藤先生に相談しながらやって、吹けるようになりました。今年は、もっと気持ちよく楽しく吹けるようになりたいです。

(4年1組 M・Aさん)

○年間100冊本を読みたいです。

○見直しや読み直しをして、小さなミスへの気づきを高めたいです。

○自分が満足できる1年にしたいです。

(4年2組 K・Kさん)

○児童会ではみんなの役にたちたいです。

○美と力(組体操)では、去年の6年生のように優しく教えて、美と力の伝統を守りたいです。

○当たり前を当たり前にやりたいです。

(6年2組 K・Kさん)

それぞれ素敵な発表でした。この4名の発表を聞いて、きっと聞いていた全校一人一人にも、「今年はどうしようか」「今年は何に挑戦してみよう」「去年は〇〇なところがうまくできていなかった。まずはそこから改善していきたい」といった、わたしにとっての新たな動き出しがあったはずです。

何も考えず、ただなんとなく過ごす一日と、何か1つ意識をもって過ごす一日とは、同じ一日も違った一日となるはずです。“これまでのわたし”から“あらたなわたし”になれるよう、一人一人がいただいた1日を大切に過ごしてほしいと思います。



集えども、味わい方は違っていい

先週金曜日の2時間目休み、自然体験園へと向かいました。1年生はもちろんのこと、多くの学年の子どもたちが、思い思いに遊んでいました。もちろん先生たちもです。

ブランコを漕ぐ子。ジャングルジムに登って景色を眺める子どもたち。有賀先生に追いかけられながらも、何だかそれを喜んでいるような2年2組の子どもたち。鉄棒で逆上がりに挑戦している姿もありました。

そんな中、2年1組の子どもたちは、松元可南子先生と大池に入りながら、水の感触を、水の中の泥の感触を味わっていました。しかけをつくって池に入れている姿もありました。何とも楽しそうで、私も入ろうかと一瞬思いましたが、着替えを持ってきていないので、今回はやめておきました。しばらく見つめていると、あることに気が付きました。それは、“大池に集まりつつも、集ったみんなが同じでない”ということでした。ズボンが濡れるのを平気で池に足を入れる子、池の水際を楽しそうに駆ける子、松元先生と一緒に入る子、近くにある大き目の石をまたいで座りみんなの様子を眺める子、そして、近くにあった



長い細板を池に入れ、池中央部にある島(網の板で覆われているところ)にその板を

架け、橋のようにして渡ろうと試みる子。休み時間のほんのひとときでしたが、子どもたちの姿を見つめると、同じ場所において、同じ池を味わおうとしていても、その味わい方、働きかけ方は一人一人が違っていて、それぞれであることを感じました。

新型コロナウイルス感染症の広がりが心配ではありますが、風を感じたり、水のひんやりさを肌で味わったり、桜の花を眺めたり、子どもと先生が本気で追いかけ合ったりと、休み時間のほんのひとときも、大切に過ごしてほしいと思います。

右の写真は、8日（金）の給食後の清掃場面です。私が教員室のごみの袋をごみステーションまで持っていこうと靴を履き替え、職員玄関を出ると、6年2組のCさん、Mさん、Kさんがしゃべることなく、竹箒を手に、ただただ職員玄関前のインターロックの清掃を続ける姿に出会いました。ゴミ袋片手に、その様子を見つめました。思わず見つめたくなくなったのです。この写真の前には3人は集うことなく、散り散りになって清掃を続けていました。そして、清掃終了が近づくと、誰かが何かを言うことなどなく、この写真の場所に集まり、集めた葉をちりとりに入れていきました。



この3人には、「無言清掃だから無言で掃除をする」という意識がなかったように感じます。箒で掃き落ち葉やごみを集めていくという行為の先に“無言”があったように思います。こういったちょっとした場面からも、『6年生になった』証しが、6年生となった自覚が、伝わってきました。

お知らせ

1 連絡網システム登録について

4月6日（水）から7日（木）にかけて、連絡網システムの登録をいただき、誠にありがとうございました。1年間、このシステムを活用し、学校からの連絡はもちろん、添付機能を利用して電子版のお便りも配信していきます。よろしくお願いします。

2 15日（金）のオンライン参観日ならびにオンライン学級懇談会について

明日行われるオンライン参観授業ならびにオンライン学級懇談会、よろしく申し上げます。一斉メールでもお伝えしましたが、出欠席のウェブアンケートの回答締め切りが本日 17:00 までとなっております。まだ回答していない方いらっしゃいましたら、ご回答願います。

また、参観日、学級懇談会のミーティング ID ならびにパスワード、URL は本日メールにてお知らせいたします。ご確認ください。

3 新型コロナウイルス感染症の予防について

毎日の朝の健康観察をご家庭でも丁寧に行ってください、誠にありがとうございます。今後も継続してお願いいたします。なお、風邪症状など少しでも体調が優れない場合には登校を自粛するようお願いいたします。